

# 外来パーキンソン病患者の 服薬状況とその問題点

山口県 地域医療支援病院

オープンシステム徳山医師会病院

吉永 哲史、伊ヶ崎 芳美、澁江 なつ美、  
有馬 治男、佐貫 記子、坂田 幹枝、西村正広

## はじめに

パーキンソン病は、安静時振戦・固縮・無動・姿勢反射障害を四大症候とする疾患である。

これらの症状を治療するために患者は1日に何度も多種類の薬を服用する。しかし多くのパーキンソン病患者は健常人と同じような動作で服薬することはできない。そこで当院外来のパーキンソン病患者の服薬状況とその問題点を調査してみた。

# 調査

## ■ 対象

H18年4月に外来受診した  
パーキンソン病患者69名

## ■ 性別

男性28人 女性41名

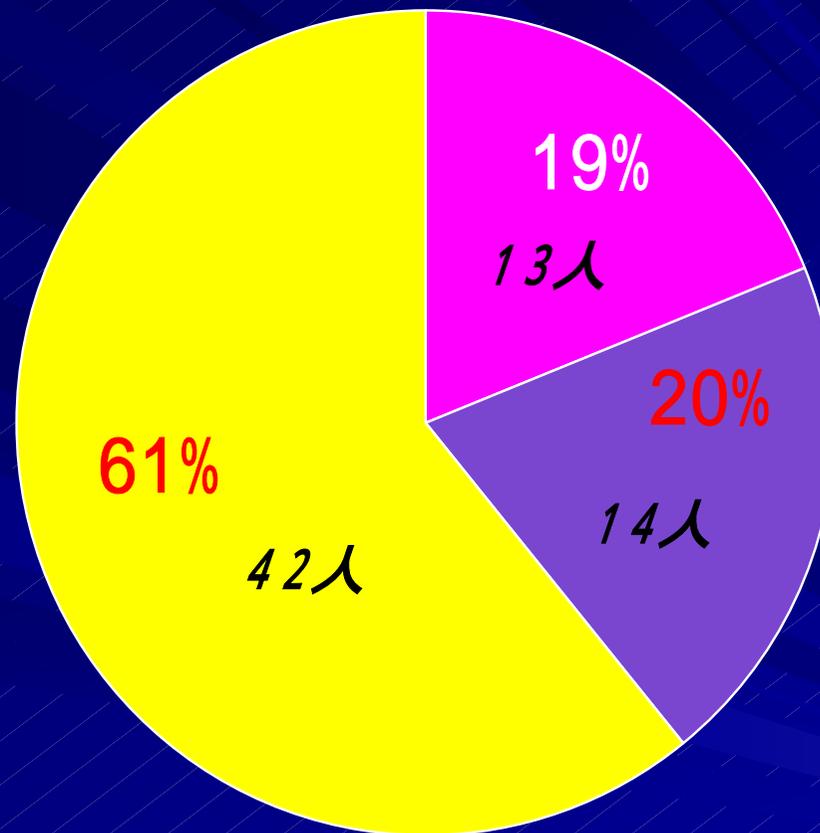
## ■ 平均年齢

70.3歳

## ■ 方法

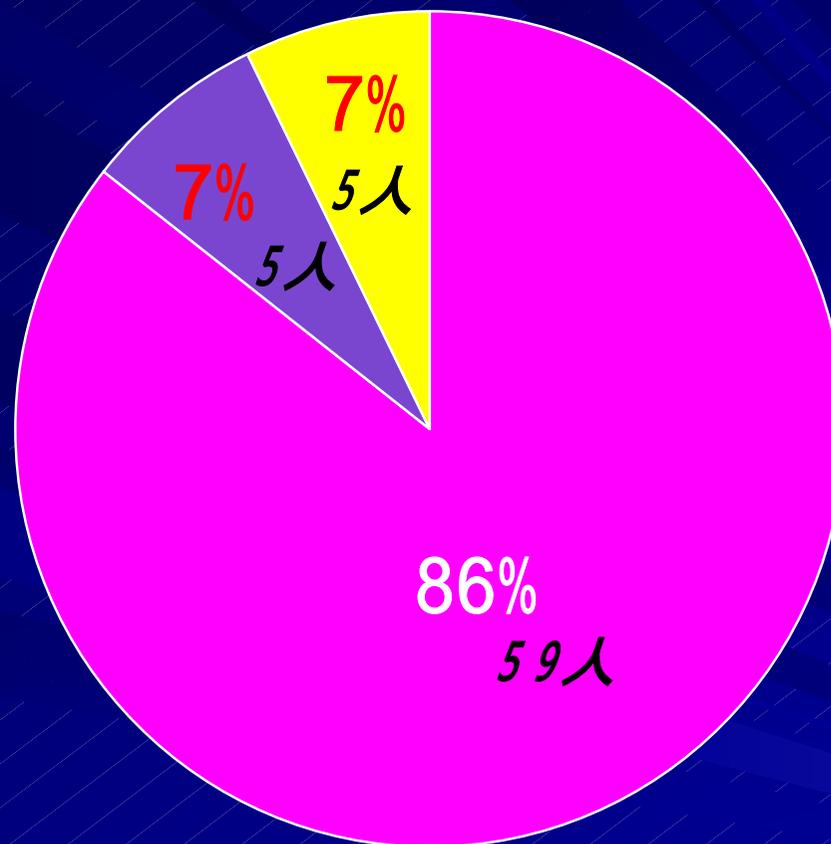
聞き取りアンケート調査

# 現在服用中の薬の名前を知っていますか？



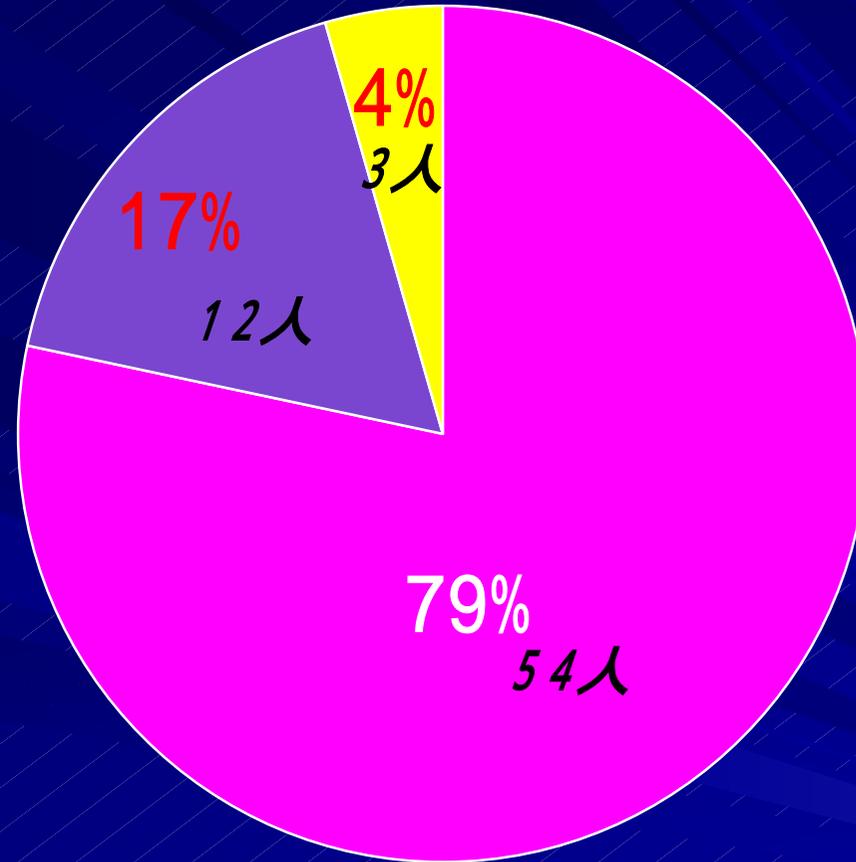
■ 知っている ■ 大体知っている ■ 知らない

# 薬を見ただけで(薬袋なし)で飲み方がわかりますか？



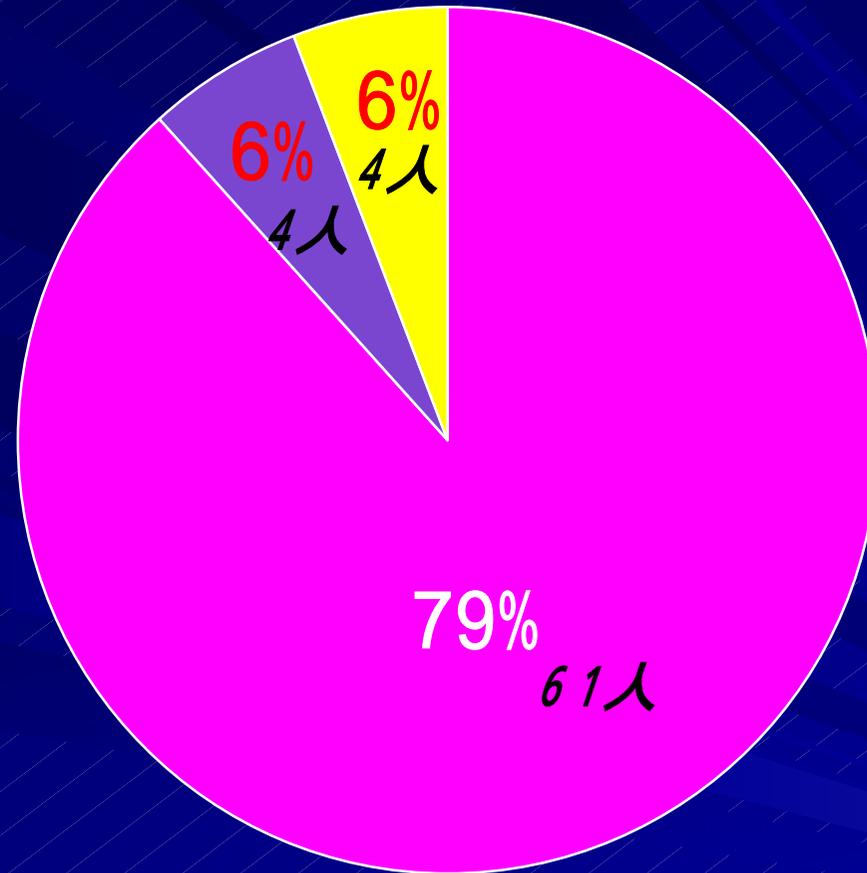
■ わかる   ■ 大体わかる   ■ わからない

# 薬は時間通りに服用していますか？



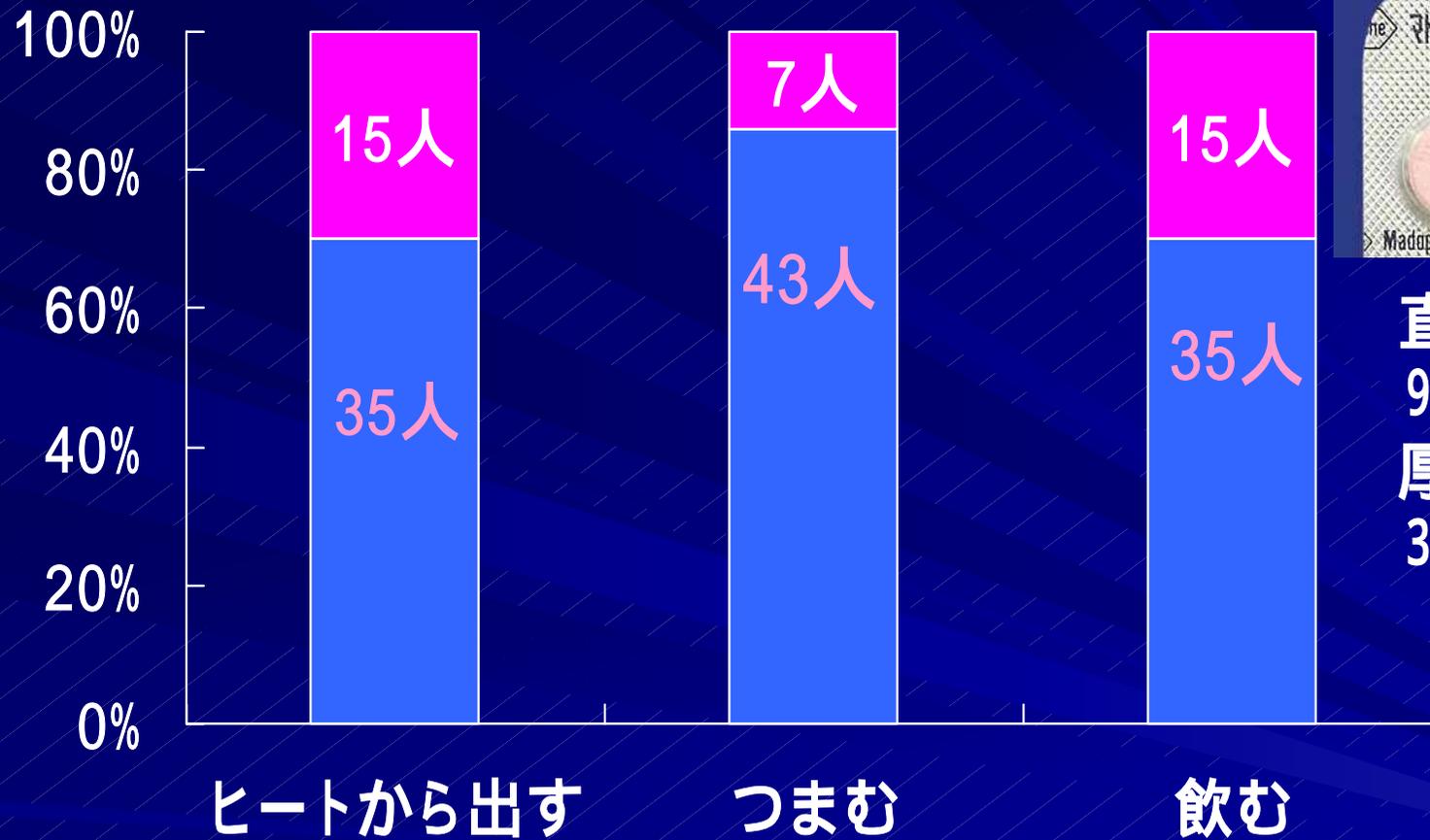
■ はい   ■ 時々忘れる   ■ 時々遅れる

# 薬を服用するまでに時間がかかりますか？



■ すぐ ■ 少しかかる ■ とてもかかる

# マドパー<sup>®</sup>錠 50人

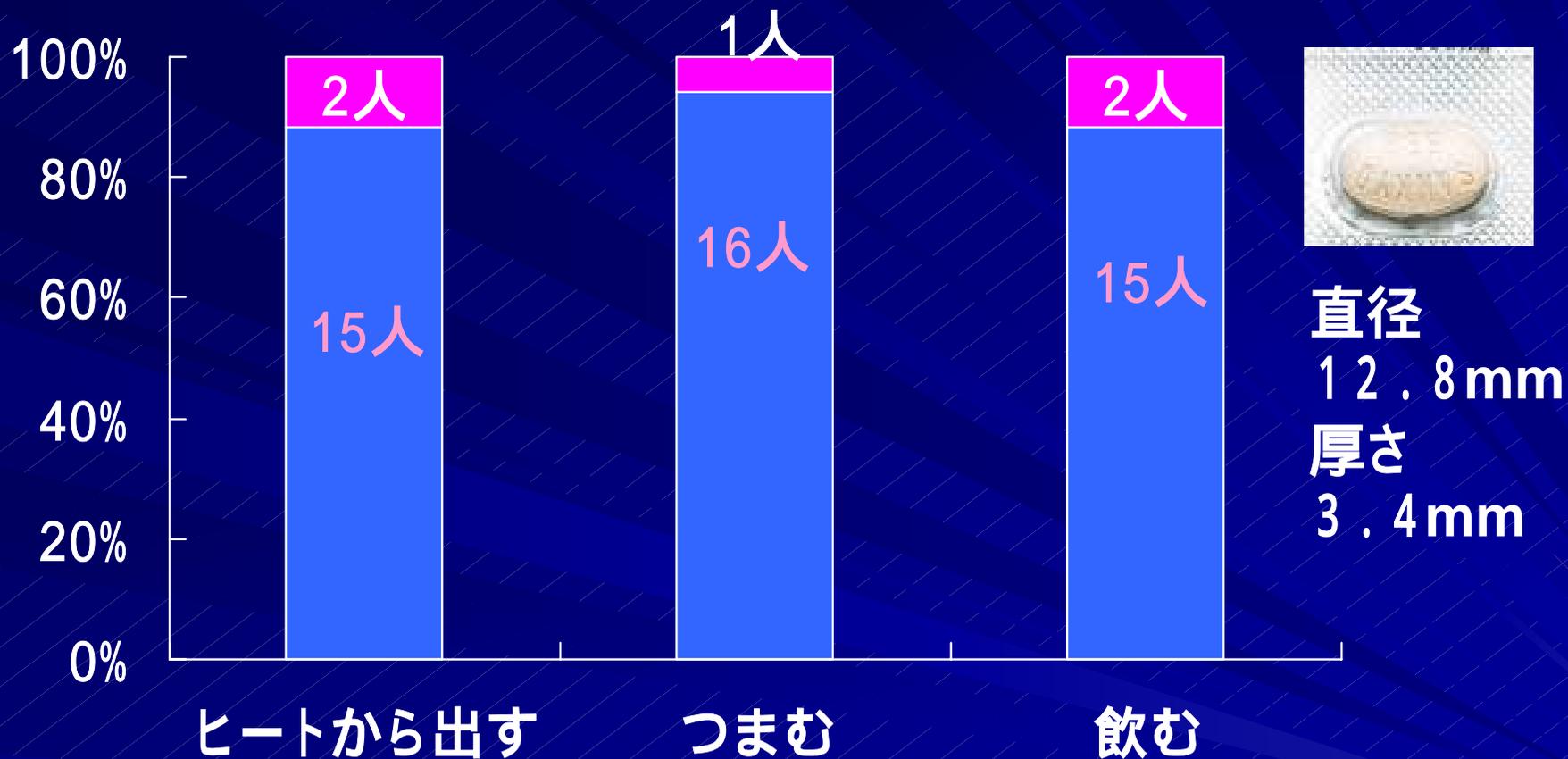


直径  
9.0mm  
厚さ  
3.5mm

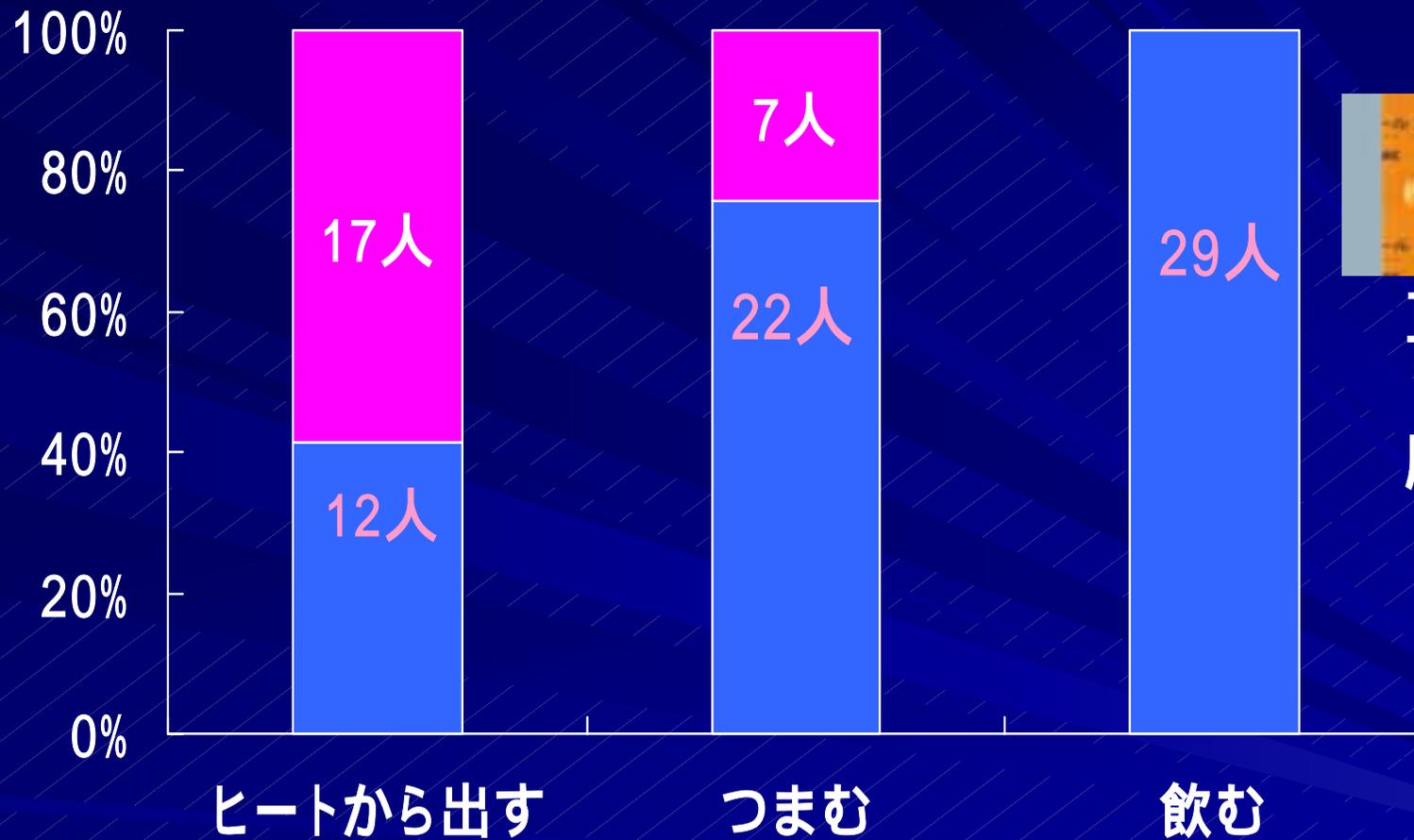
■ 容易

■ 困難

# ネオドパストン<sup>®</sup>錠 100mg 17人



# カバサール®錠 1mg 29人

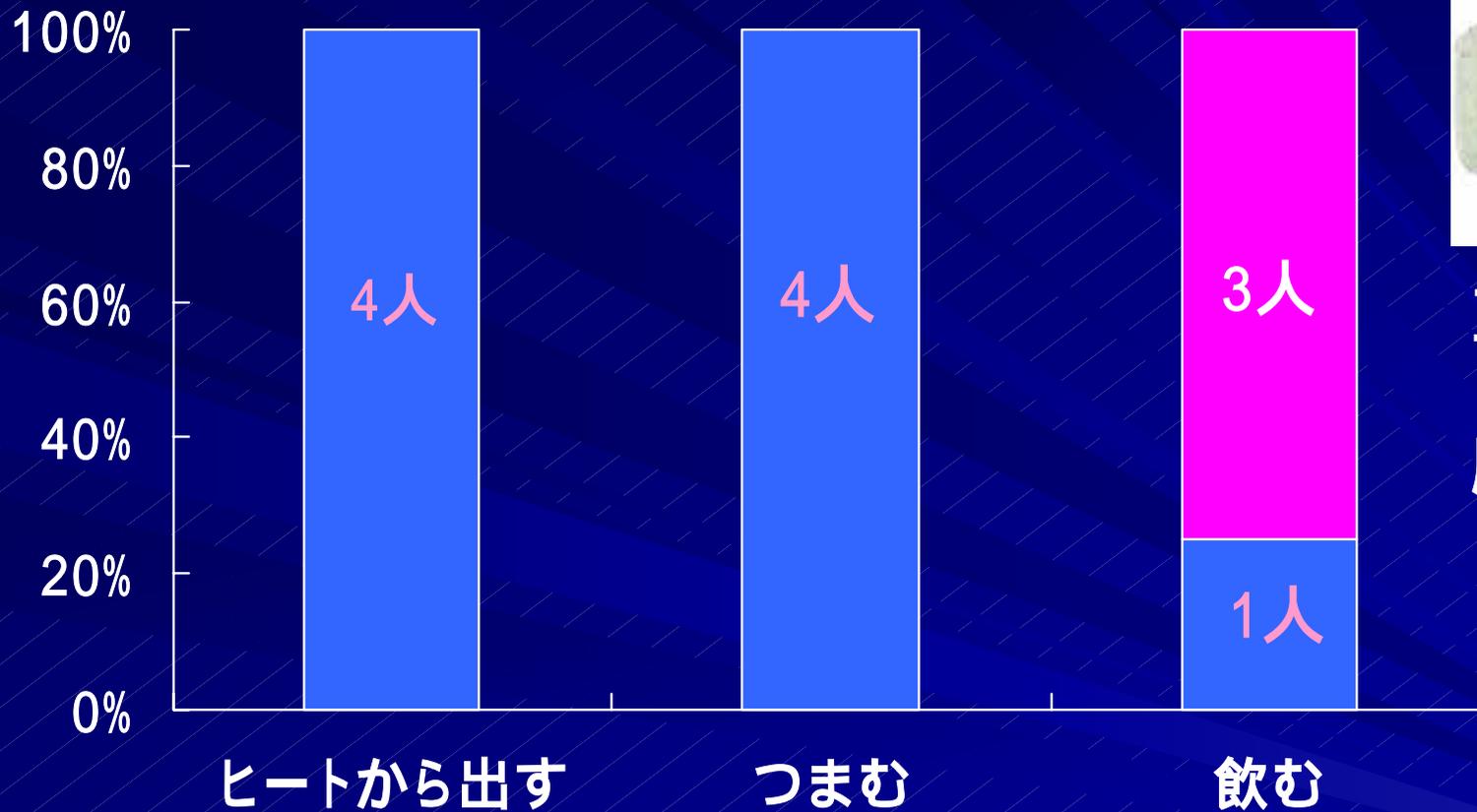


直径  
7.4mm  
厚さ  
2.8mm

■ 容易

■ 困難

# ペルマックス®錠 250 $\mu$ g 4人

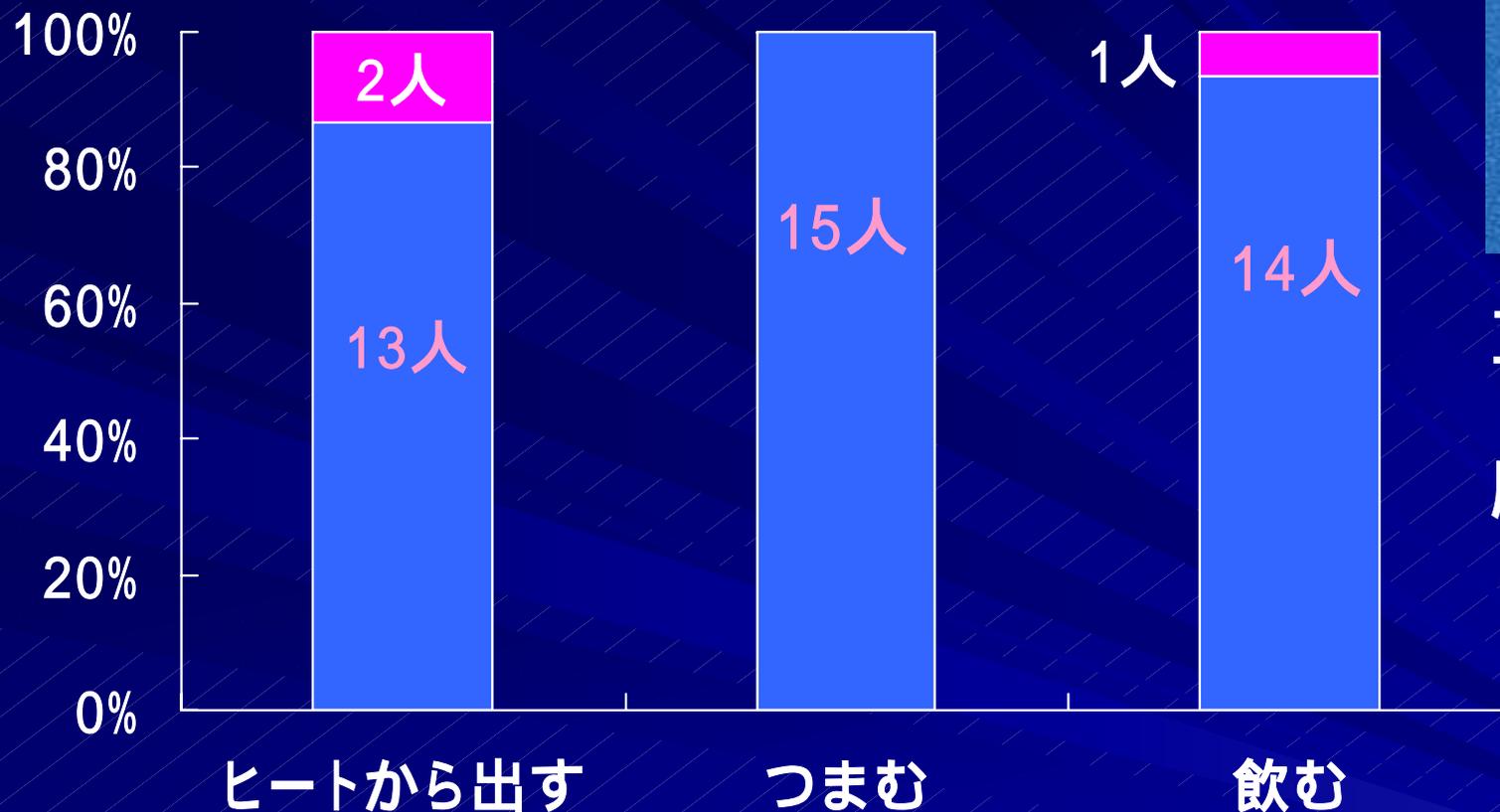


直径  
11.7mm  
厚さ  
3.8mm

■ 容易

■ 困難

# ピ・シフロール<sup>®</sup>錠 0.5mg 15人

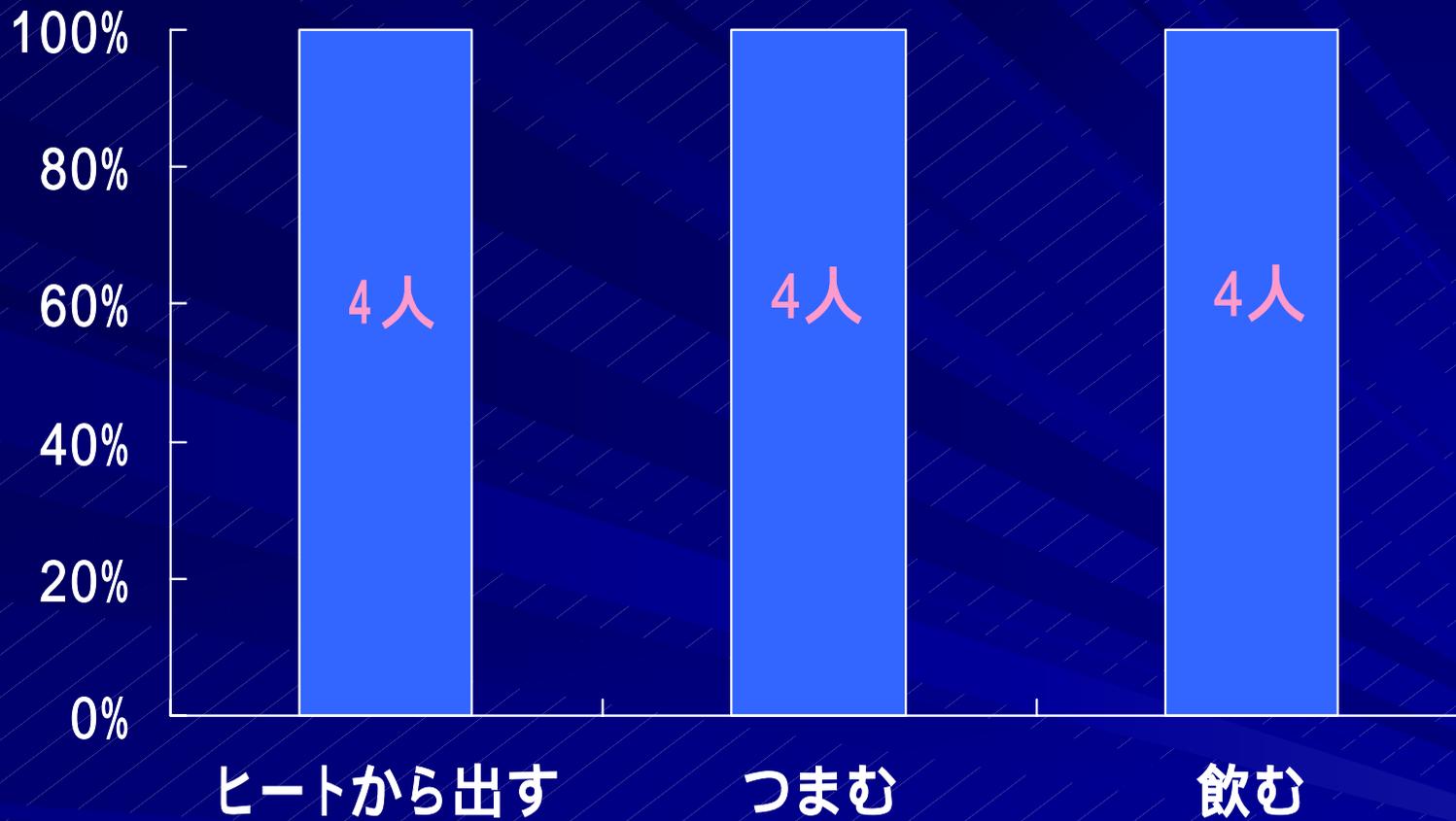


直径  
10.6mm  
厚さ  
2.7mm

■ 容易

■ 困難

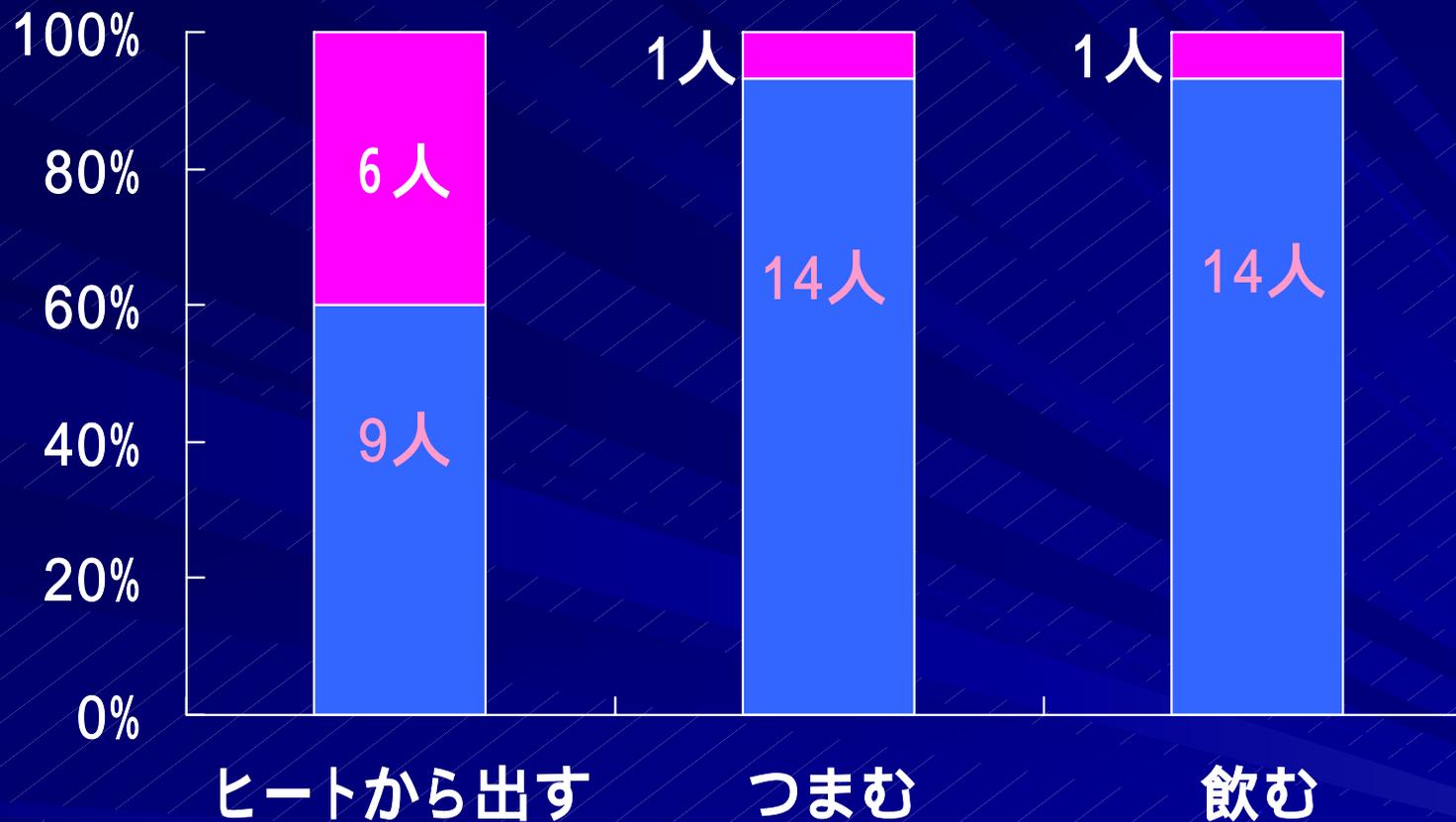
# パーロデル<sup>®</sup>錠 2.5mg 4人



■ 容易

■ 困難

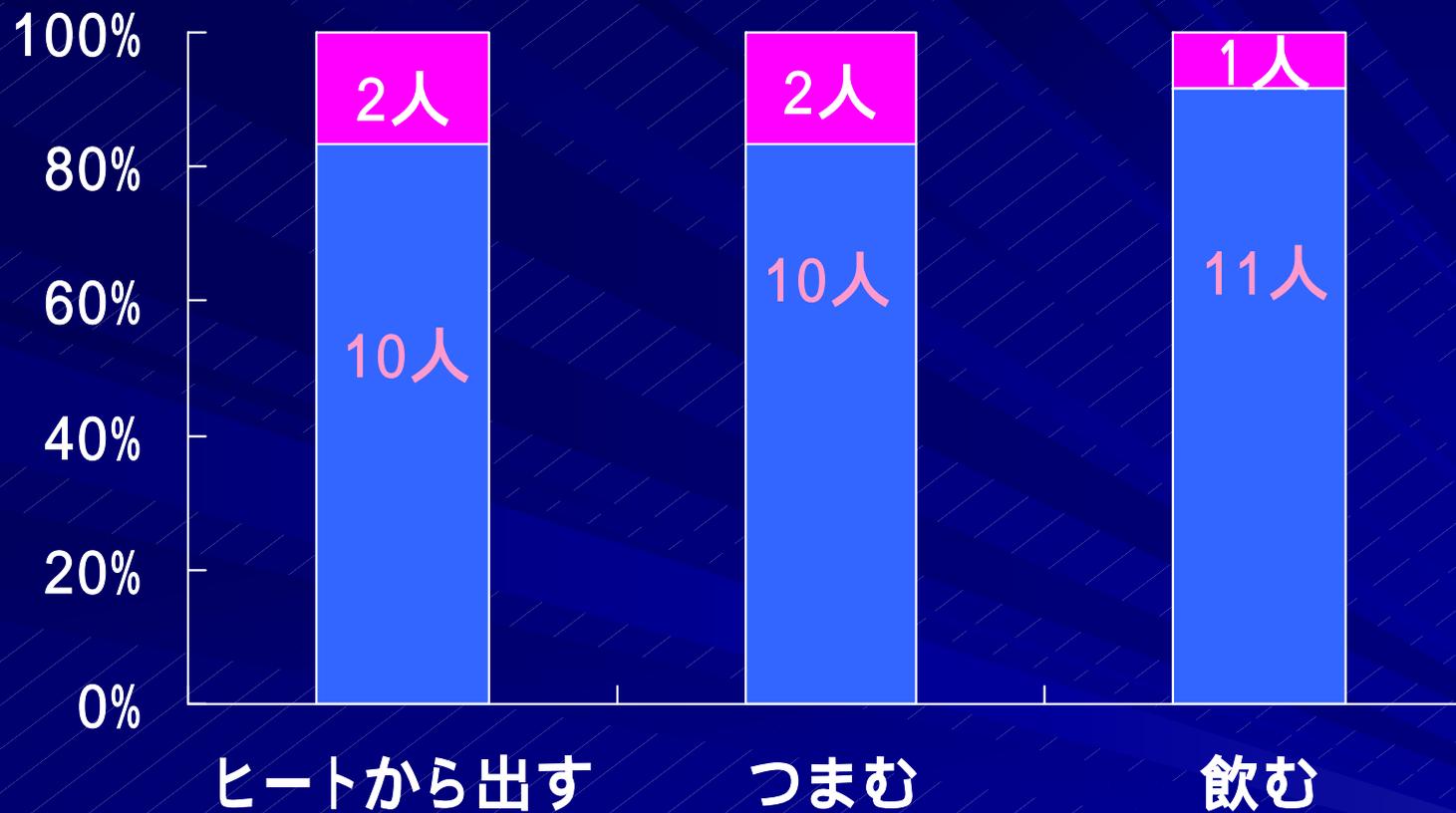
# シンメトレル<sup>®</sup>錠 50mg 15人



■ 容易

■ 困難

# エフピー<sup>®</sup>錠 2.5 12人



## 今までに薬を服用する時に困った事は？

有: 20人 (29%)

- のどにひっかかりやすい 7人
- 飲んだと思ったら落ちている 4人
- 粉がのみにくい 3人
- 準備に時間がかかる 3人
- 状態(体調)によっては飲みにくい 2人
- 半分にしづらい 2人

(複数回答あり)

## 薬の服用時に何か工夫をしていますか？

- 前もって準備(1回分、1日分)する 32人
- 上を向いて飲む 3人
- 薬袋から出した初めの日付を記入する
- 温水で飲む(錠剤のすべりが良い)
- バナナと一緒に飲み込む
- ゼリーと一緒に飲み込む
- 紙コップに入れて飲む
- プリンの空容器(透明)に入れて飲む

(複数回答あり)

# 外出時に困ったことは？

有: 22人 (32%)

- 水の確保 15人
- 薬を持って出るのを忘れる 14人
- 飲むのを忘れることがある 3人
- ペットボトルのふたを開けにくい 2人
- 飲むのを面倒くさいと思う 2人

(複数回答あり)

外出しない 14人

# 1包化を希望しますか？

希望する： 14人 (20%)



13人 : 9月現在

## 希望しない理由

- 自分で出来る間は自分で 13人
- 調剤に時間がかかる 8人
- 家族がする 3人
- かさばる 1人

# 薬剤情報提供書の持参状況

調査人数: 51人

	外出時		他院受診	
	持参する	持参しない	持参する	持参しない
薬剤情報提供書	7人	44人 (86%)	13人	38人 (74%)

## まとめ

パーキンソン病患者の場合、服用時間をずらすと動けなくなるため時間どおりに薬を服用する必要がある。そのためコンプライアンスは概ね良かったが、薬の名前を殆どの方が知らず、外出時や他院受診時に薬剤情報提供書を持参していなかった。**持参するよう今まで以上に指導していく必要があると思われる。**服薬時に関してはカバサール<sup>®</sup>などの小さい錠剤は「飲みやすいがヒートから出しにくい」、逆にマドパー<sup>®</sup>などの大きい錠剤は「飲みにくい」など様々な問題が見つかった。

我々薬剤師は1包化するなど、**服用時に手間を掛けずにすぐ服薬**できるように、**患者個々のニーズにあった調剤をする必要がある**。ただし、1包化調剤は時間がかかるため（平均16分）、今後いかに早く調剤するかが課題である。

また、外出先でペットボトルの蓋を開けにくいという意見もあり、**口腔内崩壊錠の製品化を製薬会社に働きかけていかなければならないと感じた**。